

第二仁生園だより

〜寿司会食〜

十二月六日(火)、

利用者の皆さんが待ちかねていた「寿司会食」を行いました。寿司会食は寒くなつたこの季節の恒例行事です。食事委託業者である日清医療食品㈱の寿司づくり経験のある職員さんが目の前で握つて下さいました。その味に皆さんは大満足の様子でした。寿司屋で



食べているような雰囲気も味わっていただけたのではないのでしょうか。年に二回予定して、次回は二月です。今からとても待ち遠しいです。



〜クリスマスの歌を楽しみました〜

定期的なボランティアとして「うたなかま八ヶ岳」と「朗読ほがらか」の皆様が、今月も第二仁生園を訪問して下さいました。

いつも、この時間を皆さま楽しみにしています。今回はクリスマスにちなんだ素敵な合唱や楽器の演奏、朗読を聞かせて下さいました。利用者の皆さんも歌を口ずさんだり、一緒に手拍子をとるなどして、冬の楽しいひと時を過ごしました。



毎回楽しい歌に合わせて体も動かしています！

男女混成合唱の素敵な歌声に聞き入っていました

〜ショッピング〜

毎月二回から三回、長坂町内のショッピングセンターへ買い物に出かけています。

師走に入ったこの日は、店内にもぎやかでした。お正月の支度などで、皆さんはいつもよりたくさん買って帰ってききました。

感謝

平成二十三年十一月二十二日

平成二十三年十二月二十一日

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございます。

いつも愛寿会・仁生園・第二仁生園のためにご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となつて誠心誠意努めて参ります。何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。

金員・物品のご寄附

北杜市小淵沢町	坂本 敏子	様
北杜市大泉町	小宮山 光彦	様
ボランティア活動		
北杜市高根町	保坂 多枝子	様
愛寿会後援会へのご協力		
北杜市長坂町	小林 脩	様
北杜市長坂町	浅川 元晴	様
さいたま市緑区	小松 英利	様
北杜市白州町	小林 勝雄	様
北杜市長坂町	櫻井 美智子	様
北杜市長坂町	小池 誠	様
北杜市長坂町	小澤 かず子	様

愛寿会のサービスに何かご意見・ご要望がございましたら、また、施設見学等のご希望がございましたら左記までご連絡ください。

仁生園 電話 0551(32) 3340

第二仁生園 電話 0551(32) 8270

愛寿会 たより

1 月号
第 151 号
平成 23 年
12 月 27 日発行



三分一湧水館から長坂駅方面に向かう坂を「富士見坂」と言います。富士山の景観の見事さから往昔の人が名付けたものです。この写真はその富士見坂から仲田盛興様（北杜市長坂町夏秋九二四番地）に撮っていただいたものです。

壬辰（みづのえ）の年が明けました おめでとうございます
今年も利用者の皆さまのために精いっぱい努めます

～愛寿会・仁生園・第二仁生園 役職員一同からの新年のごあいさつ～

明けましておめでとうございます。

いつも愛寿会、また、仁生園・第二仁生園のためにお力を賜り感謝申し上げます。どうか本年も変わらぬご支援、ご叱正のほどをお願い申し上げます。

今年の干支（えと）は壬辰（みづのえ）です。

ご承知のとおり干支は六十年目に元の干支に戻ります。「還暦」の所以です。

然らば前回の「壬辰」はといいますと一九五二年（昭和二十七年）です。

その年の様子を「家庭史年表」（下川耿史・家庭総合研究会編 河出書房新社刊）でみますと、四月からNHKで連続ラジオドラマ「君の名は」が始まり公衆浴場がカラになったことや、十一月に松下電器現在のパナソニックが国産第一号のテレビの公開実験をしたことなどが記されています。今昔の感ひとします。

その頃二十代、三十代で、いまの日本を築き上げるために粒粒辛苦された方々が今日八十代、九十代に在るわけです。すこやかに、楽しく日々を過ごされるよう願わずにはいられません。

改めて私どもの使命の重さを噛みしめている次第です。

因みに国内人口でみて、六十年前は七十五歳以上の方は百人に一人でした。今は百人に十人です。北杜市は百人に十七人です。高齢化と重度化が進んでいるといわれますが、右の数字からみてもおおよその見当はつくというものです。

介護の仕事もそうした実態に適合したものでなければならぬとして、さまざまレベルアップの方策が考えられています。

一例ですが、これまでは介護福祉士の国家試験を受けるには実務が三年以上あれば可とされていまし

たが、平成二十八年一月の試験からは、これにプラス四百五十時間の専門講習を受けなければならぬとなりました。

また、本年四月からのことですが、一定の学習と実習を経た介護福祉士にはたんの吸引や経管栄養の仕事ができるようこれまた関係法律が改正されました。

なお、平成二十四年度は、三年に一回の介護保険制度の見直しの年にあたります。その検討のなかで「介護業務の重要性にかんがみ処遇面で明確に改善を図るべきである」との趣旨の論議が行われており、早晚そのような方向付けが為されるものとみられます。

それらに流れる理念は介護業務の重要性の再確認、職員の一段の資質の向上、これに呼応する処遇の改善と確立……といったことと思います。

それやこれや、愛寿会、仁生園、第二仁生園ともなすべきこと多々ですが、左に掲げる愛寿会三つの基本方針と七つの誓いを心に刻みつつ、利用者の皆様、そしてゆかりの皆様「愛寿会の施設で暮せてよかった」といわれるよう、役職員まごころを込めて職責を果たして参ります。重ねて何分のご協力のほどをお願い申し上げます。

三つの基本方針

- 利用者本位のサービスの実践
- 専門性の活かせる職場づくり
- 地域社会との協働と貢献

七つの誓い

「はい」、「すみません」、「ありがとう」、「おかげさま」、「どうしましたか」、「そうですね」、「さしてください」

十二月十九日 平成二十三年年度 第三回理事会・評議員会開催

提出の六議案、三協議題とも原案のとおり認められました

以下にその主な内容をお知らせします。

平成二十四年度給食業務の委託先は

引き続き日清医療食品㈱に決まりました

この件に関しましては、愛寿会だより十一月号及び十二月号で詳しくお知らせ申し上げましたように県内外の受託専門業者に呼び掛け「我こそは…」という提案をしていただき、それを愛寿会内に設けた「給食業務評価委員会」が審査し、その結果最適と認められた業者と契約を締結することの可否について十二月の理事会・評議員会にお諮りすることになっていました。

理事会・評議員会では、小尾章臣給食業務評価委員長及び実務を担当した清水元義法人事務局長から逐一審査経過の報告がなされました。

その骨子は、

① 給食業務従事職員の配置についての考え方

② 同職員に対する年間の研修計画

③ 業務受託の前提としての管理費の内容

等、六項目に百点を配点して評価委員が採点、八名の委員で八百点満点となる。それによる最高得点が日清医療食品の七百十六点で、次点は六百十八点であったこと。

そこで十一月三十日(水)に、同社代表者に来園を求め種々の確認をしたこと。

委託費用としては、仁生園で二千七百余万元、第二仁生園で八百余万元となり、前年比三・八%の減となること。

仮契約は平成二十三年十二月八日に締結済みであること。

以上の説明があり、全員一致で日清医療食品㈱と契約締結することが認められました。

これにより十二月十九日に本契約となりました。

職員の処遇改善のための特例規程制定



ともに額も増やして支給してきました。

平成二十四年度も前年を超え支給するよう、特例規程を制定するとともに所要の予算措置をしました。

諸報告

議案、協議題についての審議のあと、執行部から非常電源装置を強化するための工事入札、来年一月早々に着手を要する「たんの吸引等」の職員研修への取り組み、平成二十六年度から一段と難しさが増す介護福祉士資格取得制度への取り組み等について説明がありました。

理事・評議員の皆様から「特別養護老人ホーム、重い障害を抱える自立支援施設の仕事がいいよ専門性を求められるようになってきている。人材育成が大事。職場内研修に万全を期するように。そのための出費を惜しんではならない」などの意見が出

され、理事長から「その旨を体して遺漏なく取り組んでいきたい」との表明がありました。

理事に井出武男氏、

評議員に小宮山英人氏を選任

今回の理事会・評議員会で欠員中であつた理事に元長坂中学校校長・前北杜市教育長井出武男氏(長坂町長坂上条二〇六五番地)が、また、評議員に北杜市教育長の小宮山英人氏(大泉町谷戸二一〇一番地)が選任されました。

井出理事は「高齢者、障害者のために精一杯努力したい」、小宮山評議員は「教育と福祉のつなぎの役割を果たしたい」と決意を語って下さいました。

「面会の皆さま

インフルエンザ・ノロウイルスの

予防のため、手指消毒に

ご協力をお願いいたします。

- 一、面会はなるべく午前九時から午後五時の間にお願ひいたします。
- 二、出入りは正面玄関からのみとして下さい。
- 三、必ずマスクを持参して下さい。お忘れの方は事務室に申し出て下さい。
- 四、入るとすぐのところに消毒液があります。手指を洗いぬいで消毒して下さい。
- 五、面会に訪れたことを事務室にお話し下さい。その際、体調の悪い方にはご遠慮いただくことがあります。
- 六、それからワーカー室に向かい、来意をお伝え下さい。
- 七、面会のときにはマスク着用を基本にお願ひいたします。

仁生園の大運動会



十二月八日(木)に運動会を行いました。

大きな円になり準備体操をした後、早速競技を開始：今回は玉入れ、ボール送りなどをフロア対抗で競いました。普段見られないような表情や歓声があがっていました。最後に職員によるいす取りゲームを行い、利用者の皆さんからは、各々のフロアの

職員への声援や拍手が向けられていました。競技の結果、今年の優勝は一・三班、でした。冬の運動会でしたが、寒さを忘れてしまうひとときでした。

「やすらぎ」で家族会を開きました

グループホーム「やすらぎ」では十二月十日(土)に家族会忘年会を行い、「ご家族も多数参加されました。昨年と同様、ご家族の希望により、富士見高原病院の職員さんによる歌謡ショーを楽しみました。入居者さま一名ずつにマイクを付け、昔なつかしい歌等を歌って頂き一時間ほど楽しまれ、その後職員の手作りによる料理を食べながらの会食、プレゼント交換を行いました。次回の家族会を約束し、ご家族との楽しいひとときを皆さんで過ごしました。



泉中学校の生徒の皆さんが仁生園を訪問

今年も泉中学校一年生の皆さんが福祉学習の一環として仁生園を訪問して下さいました。長田先生と生徒代表の方にひとこと頂きました。

第一学年主任 長田 進



「泉中よさこいソーラン」に拍手喝采でした。

をもとにして交流会のプログラムを生徒自身で考えました。当日は合唱と、本校の伝統となっている「泉中よさこいソーラン」の発表から始まり、六つのグループごとにこの日のために準備してきた企画で入所者の方と交流させて頂きました。手品や紙芝居の披露、ボウリングや風船遊びなどのゲーム、入所者の方との共同作業による貼り絵など、入所者の方々に喜んでいただけるよう生徒なりに工夫をして臨みましたが、うまく進行できないところもありました。

今回は仁生園のみなさんと貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございます。減多にない機会でしたので、とても楽しく交流させて頂きました。最初は本当にどうしたらいいのかわからなくて、少し気まずくなったりしてしまいました。ですが、時間が経つにつれ少しずつ打ち解けていくことが実感できました。交流させて頂いたみなさんに満足して頂けることができました。ありがとうございました。また仁生園に伺える日を心待ちにしています。本当にありがとうございました。

仁生園のみなさんへ 松永 瑠依

その点は仁生園のスタッフの方々が支援して下さい、無事交流会を終えることができました。最近では核家族化も進み、日常生活の中で高齢者の方とふれあう機会が少ない生徒も数多くいるのが現状です。このたびは貴重な機会をありがとうございました。



さまざまな演(だ)しもののもと、6グループに分かれての交流会…老若ともに団欒(だんらん)のひとときでした。